

# 2024年6月21日リリース Mist 新機能のご紹介

ジュニパーネットワークス株式会社

JUNIPER   
driven by Mist AI

# はじめに

- ❖ 本ドキュメントは以下のリリースノートを抄訳したものです

<https://www.mist.com/documentation/june-21st-2024-updates/>

本ドキュメントは2024年6月時点のMist cloudのGUIを使用しております

- ❖ 実際の画面と表示が異なる場合がございます
- ❖ 内容について不明な点、ご質問等ございましたら担当営業までお問い合わせください

# 本リリースで追加された機能一覧

## Simplified Operations

- アラブ首長国連邦へのMistクラウドインスタンスの追加
- Juniper Apstraクラウドサービスの統合

## Wireless Assurance

- Hotspot 2.0からPasspointへの名称変更
- ゲストポータルでのプライバシーポリシーの承認

## Wired Assurance

- スイッチインサイトのテーブル容量情報の改良
- スイッチの健全性SLE情報の追加
- キャンパスファブリックにおけるアンダーレイでのIPv6サポート
- スイッチルールでのポートミラーリング設定
- スイッチテンプレートでのスイッチルールの複製
- 静的経路での設定可能パラメータの追加
- ポートアップ/ダウンイベントアラートメール時のポート概要の記載

## WAN Assurance

- 冗長イーサネットインタフェースでのLACP設定
- Cellularエッジ機器でのLLDPサポート

## Network Observability and Business Intelligence

- Premium Analyticsへの新ダッシュボードの追加

## Feature Deprecation

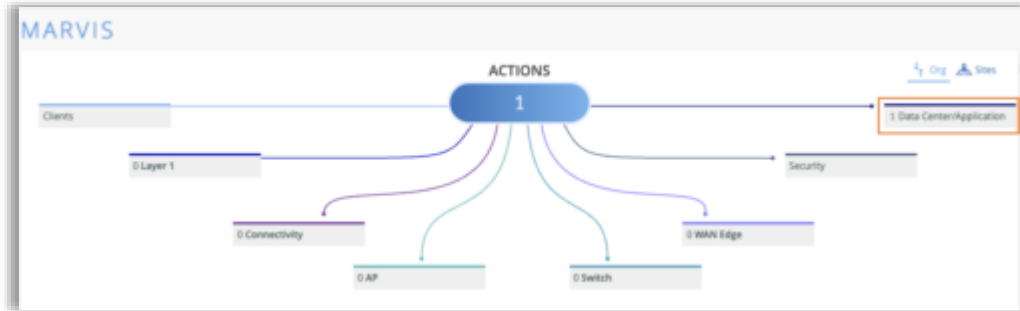
- Webhookトピックasset-rawの廃止

# Simplified Operations

# アラブ首長国連邦へのMistクラウドインスタンスの追加

- 新しいMistクラウドインスタンスがアラブ首長国連邦に設置されました
- クラウドインスタンス名は「EMEA 03」です。
- EMEA 03に関する詳しい情報に関しましては、以下のサイトをご覧ください
  - クラウドインスタンス：  
<https://www.mist.com/documentation/cloud-instances/>
  - ポート、IPアドレス情報：  
<https://www.juniper.net/documentation/us/en/software/mist/mist-management/topics/ref/firewall-ports-to-open.html>

# Juniper Apstraクラウドサービスの統合

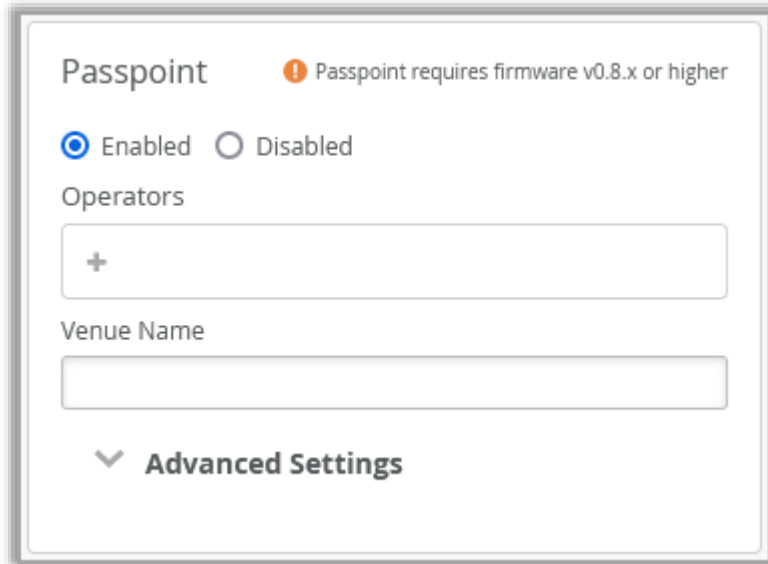


- MistダッシュボードにJuniper Apstraクラウドサービスを統合しました
  - Juniper Apstraクラウドサービス：  
SaaSベースのデータセンタのDay 2監視プラットフォーム
- Apstraで管理するデータセンタのネットワークイベントを受信し、根本原因分析に役立てることができるようになります
- データセンタでのイベントに対し、管理者はより積極的な対応をとることが可能になります
- Juniper ApstraクラウドサービスがMistと統合された場合、Marvisアクションページの「データセンタ/アプリケーション」カテゴリでデータセンタで発生しているイベント数を確認できます（左図）
- Marvisアクションの「データセンタ/アプリケーション」カテゴリをクリックすることにより、Juniper Apstraクラウドサービスを起動し、イベントの詳細を確認することができます
- Juniper Apstraクラウドサービスを統合するには、MistダッシュボードのOrganization > SettingsページでApstra Organization IDとAPIトークンなどの情報を入力します
- 詳細に関しては以下のURLをご覧ください

<https://www.juniper.net/documentation/us/en/software/juniper-apstra-cloud-services/user-guide/topics/task/cross-launch-juniper-apstra-cloud-services-mist.html>

# Wireless Assurance

# Hotspot 2.0からPasspointへの名称変更



Passpoint ⓘ Passpoint requires firmware v0.8.x or higher

Enabled  Disabled

Operators

+

Venue Name

▼ **Advanced Settings**

- Wi-Fiアライアンスの用語との一貫性を保つためにWLAN設定内のHotspot 2.0設定をPasspointに名称変更しました（左図）
- Passpointを利用すると、ユーザはWi-Fiネットワークにシームレスに接続できます
- あらかじめ用意された各オペレータやサービスプロバイダの設定テンプレートを利用することで、Passpointネットワークを簡単に導入できます



# ゲストポータルでのプライバシーポリシーの承認

Layout Customization

Responsive Layout

Alignment  left  center  right

Logo Primary Color Background

Hide 'Powered by Juniper Mist'

Require acceptance of [Terms of Service](#)

Require acceptance of [Privacy Terms](#)

Do not save user data

Show 'Opt Out'

5253347cbd# [Preview Guest Portal](#)

図1

**Juniper Mist™**

Sign in to get online

Name required

Email required

Company required

I accept the Privacy Policy  
**Privacy Policy**

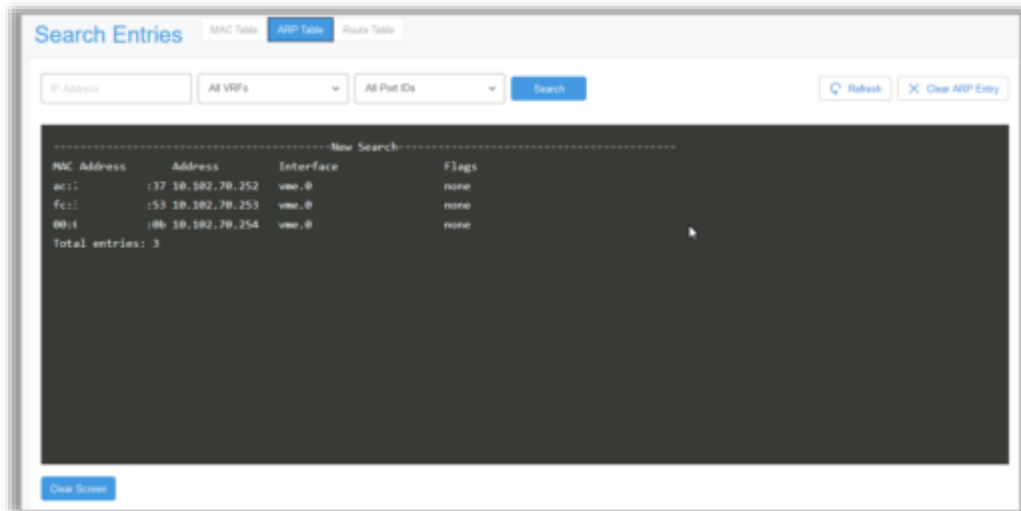
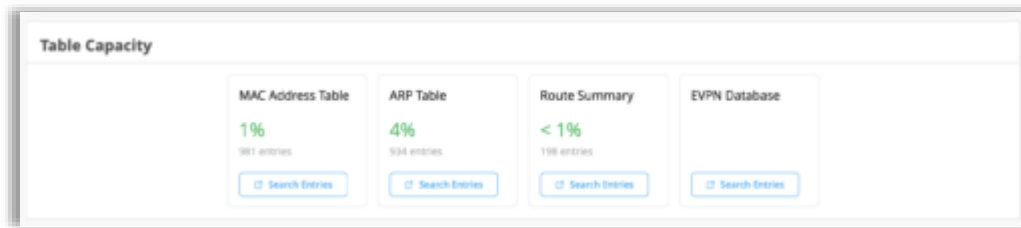
Powered by Juniper Mist™

図2

- ゲストポータルに、プライバシーポリシーをユーザが読んで承諾するオプションを設定できるようになりました
- WLAN作成ページ内にあるゲストポータル設定画面の Layout Customization タブ で 「Require acceptance of Privacy Terms」のチェックボックスを選択します（図1）
  - Privacy Termsのハイパーリンクをクリックし、プライバシーポリシーの内容を追加する必要があります
- プライバシーポリシーの設定をすると、ゲストポータル画面でプライバシーポリシーの承認オプションが出力されるようになります
- ユーザはポリシーを読み、「I accept the Privacy Policy」をチェックすることにより、プライバシーポリシーを承認できるようになります（図2）

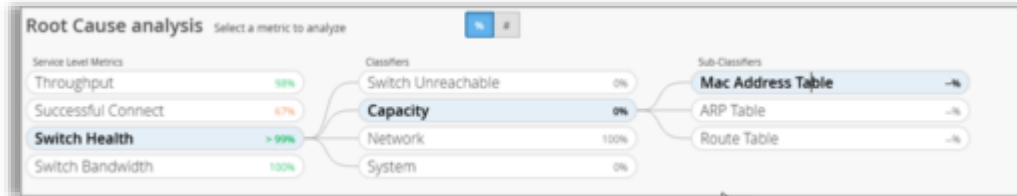
# Wired Assurance

# スイッチインサイトのテーブル容量情報の改良



- スイッチインサイトのテーブル容量からエントリ情報を検索できるようになりました
- 各メトリックにある「Search Entries」ボタンをクリックすると別ウィンドウが出力され、フィルター設定後にエントリ情報を検索できます（左上図）
- 右上部にある「Refresh」ボタンをクリックすると、3秒毎にエントリ情報を表示し、合計30秒間表示され続けます（左下図）
  - 30秒経つ前に表示を停止するには、ウィンドウをクローズするか、別のテーブルをクリックします
- MACアドレステーブルとAPRテーブルのエントリの場合、右上部の「Clear Entry」ボタンをクリックするとテーブルからそれぞれのエントリを消去できます
- 左下部にある「Clear Screen」をクリックすると表示内容を消去できます
- スイッチインサイトのテーブル容量の項目では以下のメトリックが確認できます
  - MACアドレステーブル：
    - MACアドレステーブルの使用容量をパーセントで表示
  - ARPテーブル：
    - ARPテーブルの使用容量をパーセントで表示
  - ルートサマリ：
    - ルーティングテーブルの使用容量をパーセントで表示
  - EVPNデータベース：
    - スイッチがEVPNトポロジに組み込まれている時のみに表示されるメトリックです
    - このメトリックは使用容量やエントリ数を表示しません

# スイッチの健全性SLE情報の追加



- スwitchの健全性SLEの分類子と子分類子を変更しました
- スwitchの健全性SLEに「Capacity」という新しい分類子を追加しました
  - MACアドレステーブル、ARPテーブル、ルーティングテーブルに関連して発生したスitchの健全性問題に関するインサイトを提供します（左図）
- スwitchヘルスの分類子、子分類子を左の表のように並び変えました

スitchの健全性分類子	スitchの健全性子分類子
Switch Unreachable	-
Capacity	MAC Address Table
	ARP Table
	Route Table
Network	WAN Latency
	WAN Jitter
System	Temp
	Power
	CPU
	Memory

# キャンパスファブリックにおけるアンダーレイでのIPv6サポート

### TOPOLOGY SETTINGS

BGP Local AS

  
(2-byte or 4-byte)

Underlay

IPv4  IPv6

Subnet ⓘ

  
(xxx::xxx/xx)

IPv6 Loopback Interface ⓘ

  
(xxx::xxx/xx)

IPv4 Auto Router ID Subnet / Loopback Interface ⓘ

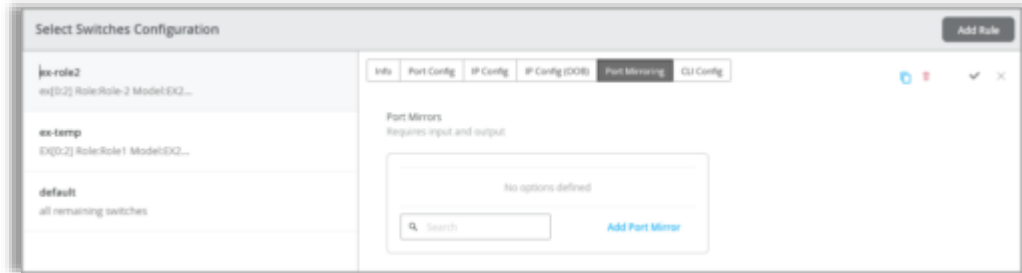
  
(xxx.xxx.xxx.xxx/xx)

Loopback Per-VRF Subnet ⓘ

  
(xxx.xxx.xxx.xxx/xx)

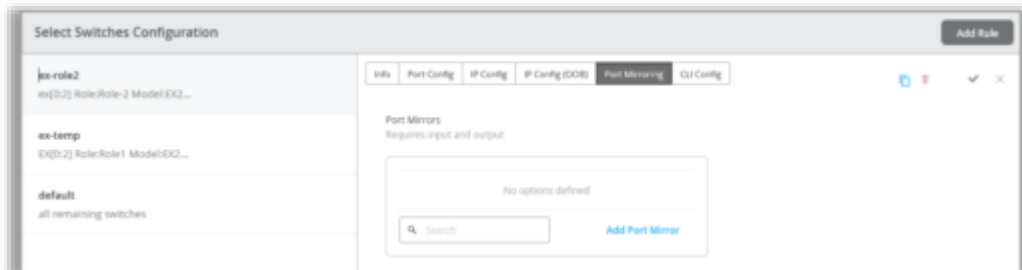
- キャンパスファブリックトポロジにおけるアンダーレイでのIPv6使用をサポートしました
- 以下のトポロジでIPv6をサポートしています
  - EVPN マルチホーミング
  - キャンパスファブリックコアディストリビューション (ERB)
  - キャンパスファブリックIP Clos
- キャンパスファブリック設定ページ内のトポロジタブでIPv6を有効にできます (左図)
- IPv6をアンダーレイで使用する場合、自動で各機器にIPv6ループバックインタフェースを設定するためのIPv6ループバックインタフェース用サブネット情報を追加で記載する必要があります

# スイッチルールでのポートミラーリング設定



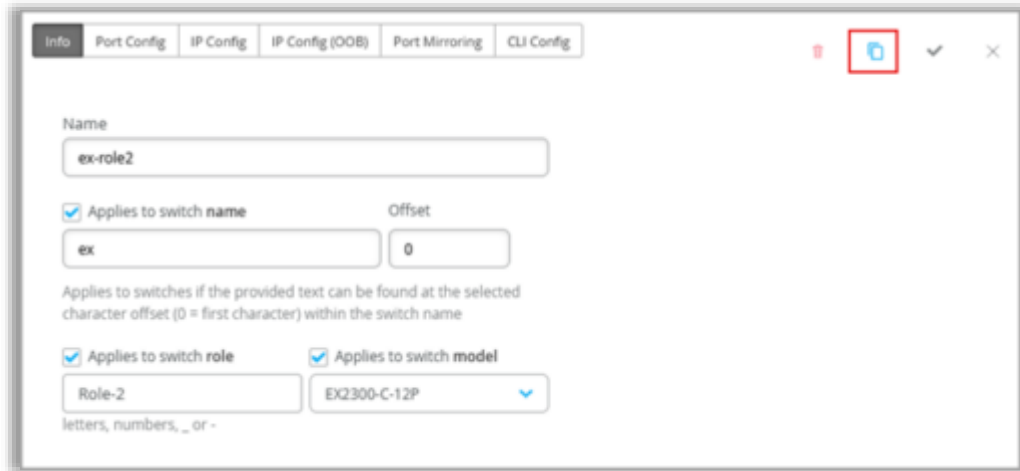
- スイッチルールでポートミラーリングが以下のいずれかから設定できるようになりました（左図）
  - スイッチテンプレート内のSelect Switches Configuration項目（Organization > Switch Template、またはSite > Switch Configuration）
  - Switch > スイッチ名
- ルールで指定されたスイッチの役割、スイッチ名、スイッチモデル等のパラメータに基づいて、スイッチにポートミラーリングを動的に適用することが可能です
- ネットワークの監視やトラブルシューティングに使用できます
- ポートミラーリングが有効になると、スイッチはミラーリングポートからモニターポートにネットワークパケットのコピーを送信します
- Select Switches Configurationのルールはグローバルポートミラーリングの設定よりも優先されます
- グローバルポートミラーリングが設定されている場合、Select Switches Configurationではデフォルトルールとして読み取り専用で表示されます
- デフォルトルールを変更したい場合はグローバル側の設定を変更する必要があります

# スイッチルールでのポートミラーリング設定（続き）



- ポートミラーリングの設定では以下を指定できます
  - Input :
    - 監視したいトラフィックの送信元インタフェース、またはネットワークです
    - 対象インタフェースの入カトラフィック、または出カトラフィックを監視対象とするかを設定します
    - 入力、出力のどちらも監視対象としたい場合は、同じインタフェースのエントリを2つ（1つが入カトラフィック、もう1つが出カトラフィック）追加します
  - Output :
    - ミラーリングしたトラフィックを転送先となる宛先インタフェースです
    - 同じインタフェースやネットワークをInputとOutputのどちらにも指定することはできません

# スイッチテンプレートでのスイッチルールの複製



The screenshot shows a configuration window for a switch rule. The window has tabs for 'Info', 'Port Config', 'IP Config', 'IP Config (OOB)', 'Port Mirroring', and 'CLI Config'. The 'Info' tab is active. The form contains the following fields and options:

- Name: ex-role2
- Applies to switch name: ex
- Offset: 0
- Applies to switch role: Role-2
- Applies to switch model: EX2300-C-12P

Below the 'Applies to switch role' field, there is a note: "letters, numbers, \_ or -".

- Select Switches Configuration項目内の作成済みルールを複製することにより、簡単にスイッチルールのエントリを作成できるようになりました
- 作成済みルールの設定画面でコピーアイコンをクリックし、新しいルール名を記入後、「Clone」ボタンをクリックします（左図）



# 静的経路での設定可能パラメータの追加

Add Static Route

Subnet  Network

Destination

(xxx.xxx.xxx.xxx or {{siteVar}}.xxx.xxx)

Discard

Next Hop

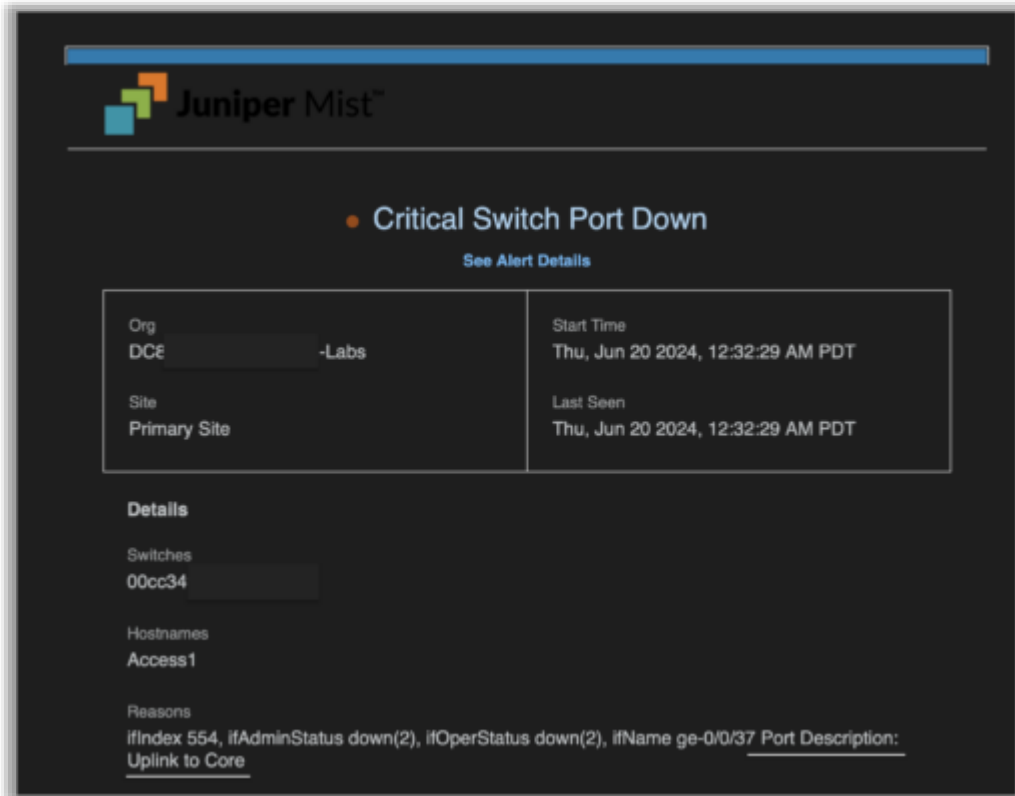
(xxx.xxx.xxx.xxx or {{siteVar}}.xxx.xxx)

Metric

Preference

- 静的経路で以下のパラメータを設定できるようになりました（左図）
  - メトリック（Metric）：
    - 静的経路のメトリック値
    - 宛先ネットワークへの経路が複数ある場合に最適経路を決定する際に役立ちます
    - 設定可能範囲：0 ～ 4294967295
  - プリファレンス（Preference）：
    - 外部自立システム（AS）またはルーティングドメインにある宛先ネットワークへの経路を選択する際に使用されます
    - AS内の経路はIGPのメトリック、またはコスト値に基づいてIGPによって選択されます
    - 設定可能範囲：0 ～ 4294967295
  - 廃棄（Discard）：
    - 選択すると、宛先ネットワークへのパケットは廃棄されます
    - 廃棄は他のパラメータよりも優先されます

- ポートアップ/ダウンイベントアラートメール時のポート概要の記載



- ポートアップ、ダウンイベント時に送信されるアラートメールにポート概要が含まれるようになりました（左図）
- これまではメールにはスイッチ名とインタフェース名のみ記載されていました

# WAN Assurance

# 冗長イーサネットインタフェースでのLACP設定

Interface \* VAR

ge-0/0/3,ge-7/0/3

(ge-0/0/1 or ge-0/0/1-5 or reth0, comma separated values supported for aggregation)

Disabled

Port Aggregation

Disable LACP

Enable Force Up ⓘ

AE Index

(0-127)

Redundant BETA

Redundant Index (SRX Only)

4

Primary Node \*

node1

Enable "Up/Down Port" Alert Type ⓘ  
(Manage Alert Types in Alerts Page)

Description VAR

Networks

SPOKEOSPF 82 × SPOKEOSPFCUSTOM 88 ×

SPOKEOSPF1 <default> ×

SPOKOSPFCUSTOM1 89 × LAN3963 3963 ×

VLAN37 37 × VLAN2713 2713 ×

VLAN3708 3708 × VLAN2111 2111 ×

(Select an existing Network or [Create Network](#))

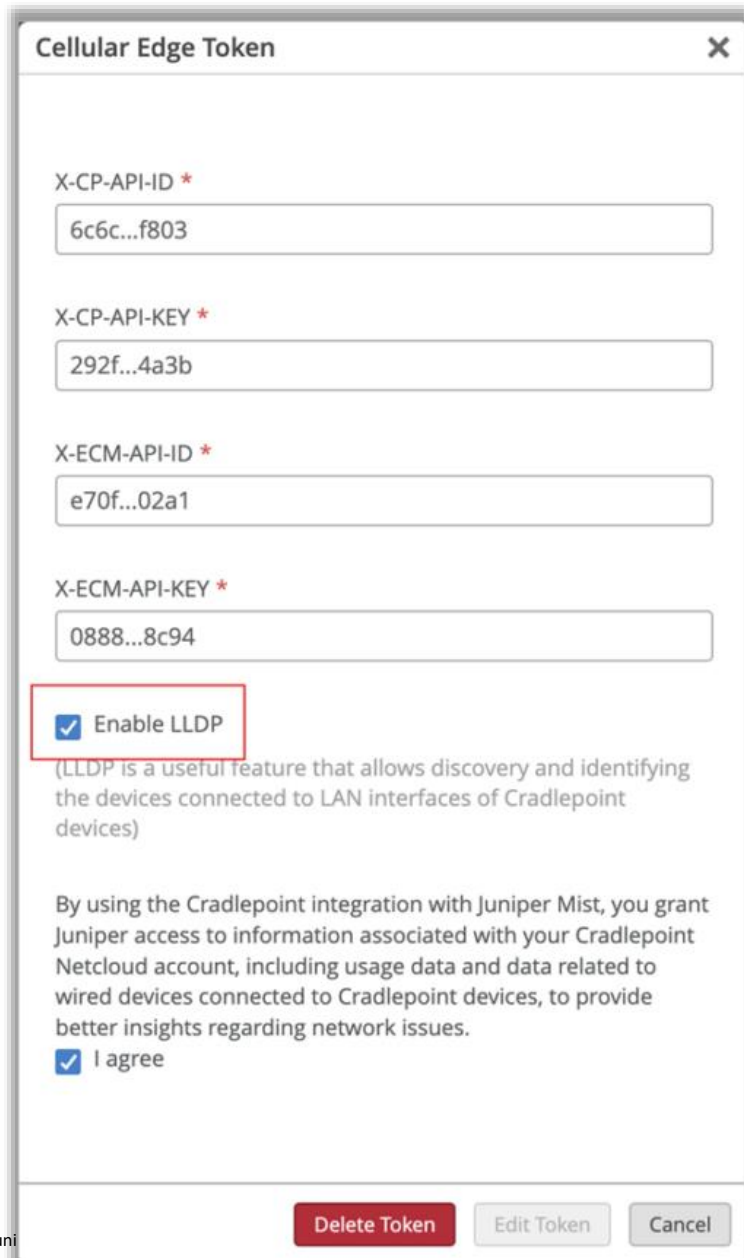
Untagged VLAN Network (SRX Only)

None

Delete LAN Save Cancel

- SRXクラスタ構成の冗長イーサネット（reth）インタフェースでLACPを有効にできるようになりました
- Port AggregationとRedundant設定をどちらも選択した場合にLACP設定がrethインタフェースに適用されます（左図）
  - Port AggregationとRedundant設定はWANエッジ設定内のLANまたはWAN設定項目にあります
- この設定ではPort Aggregation内のAEインデックスは尊重されず、設定されないことに留意ください
- rethインタフェースにLACP Force Upオプションを選択した場合、クラスタ内の各ノードの最初のイーサネットインタフェースに適用されます

# Cellularエッジ機器でのLLDPサポート



Cellular Edge Token

X-CP-API-ID \*

6c6c...f803

X-CP-API-KEY \*

292f...4a3b

X-ECM-API-ID \*

e70f...02a1

X-ECM-API-KEY \*

0888...8c94

Enable LLDP

(LLDP is a useful feature that allows discovery and identifying the devices connected to LAN interfaces of Cradlepoint devices)

By using the Cradlepoint integration with Juniper Mist, you grant Juniper access to information associated with your Cradlepoint Netcloud account, including usage data and data related to wired devices connected to Cradlepoint devices, to provide better insights regarding network issues.

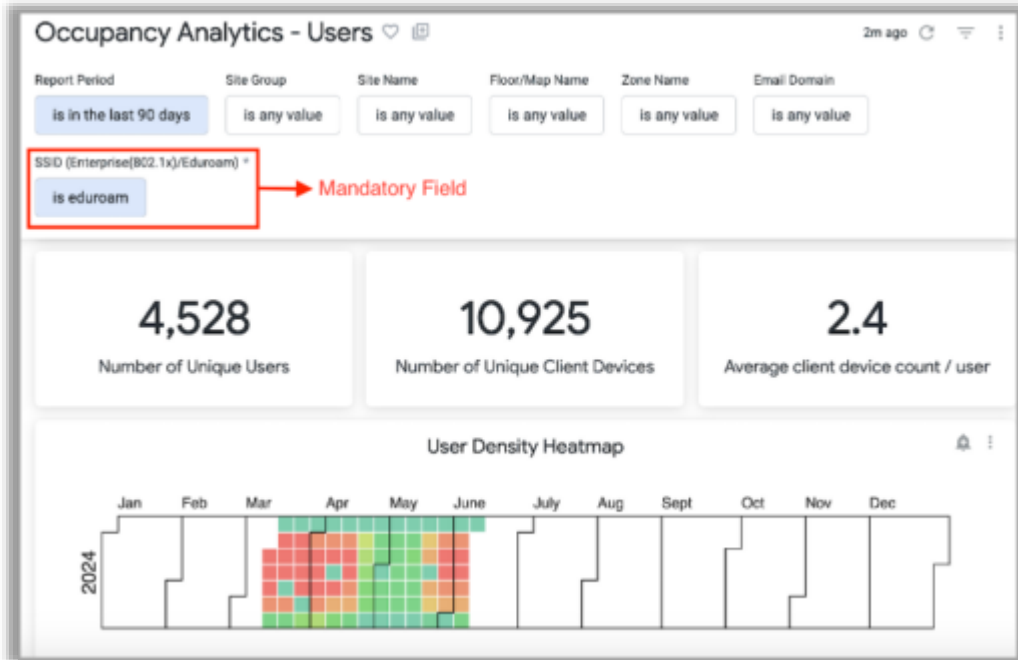
I agree

Delete Token Edit Token Cancel

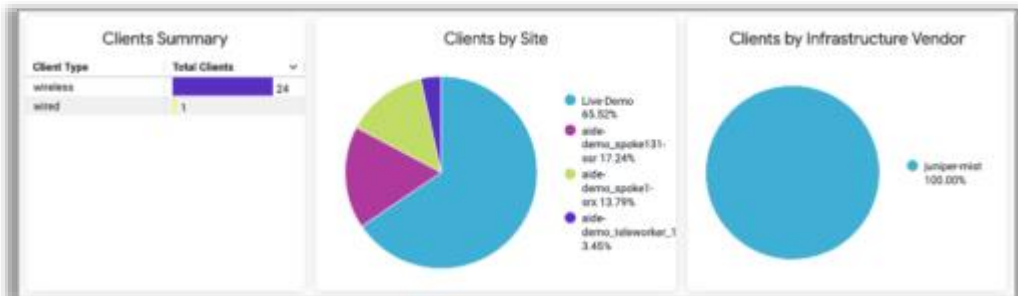
- Cellularエッジ（Cradlepoint社製）機器をMistに統合した場合、CellularエッジでLLDPを有効にすることができます（左図）
- LLDPによってCellularエッジ機器のLANインタフェースに接続された機器を検知、特定することが可能です

# Network Observability and Business Intelligence

# Premium Analyticsへの新ダッシュボードの追加



- Premium Analyticsサービスに、新たに2つのダッシュボードが追加されました
  1. Occupancy Analytics - Users (混雑分析) (左上図)
    - 個々のWi-FiまたはBLEデバイス数ではなく、ユーザ数を計測することにより、混雑状況をより正確に把握できます
    - このダッシュボードは「エンタープライズ (802.1x)」や「eduroam」など、単一のSSIDがネットワーク全体に展開されている企業や教育機関に適用できます
    - 従業員や生徒、スタッフが一つのユーザ名で複数の機器を接続することが多いため、この方法によりユーザ数の重複を排除できます
    - このダッシュボードには以下が含まれます
      - サイト、フロア、ゾーンの混雑状況と滞在時間の詳細
      - ユーザ数と滞在時間のゾーンランキング
      - 混雑状況のヒートマップ
  2. Access Assurance Insights (左下図)
    - Access Assuranceサービスにおける、接続および接続失敗に関連したインサイトを提示します
    - このダッシュボードには以下が含まれます
      - クライアントと認証の統計とトレンド
      - 失敗した認証の分布とトレンド
      - Access Assuranceのイベントリスト



# Feature Deprecation



# Webhookトピックasset-rawの廃止

- 2024年6月30日より、asset-rawのWebhookトピックを廃止します
- asset-raw-rssiに代替されます
- Webhookの詳細は以下のセクションをご覧ください（Mistユーザーアカウントが必要となります）

<https://api.mist.com/api/v1/docs/Site#webhooks>

Thank you

---

JUNIPER   
driven by Mist AI™